

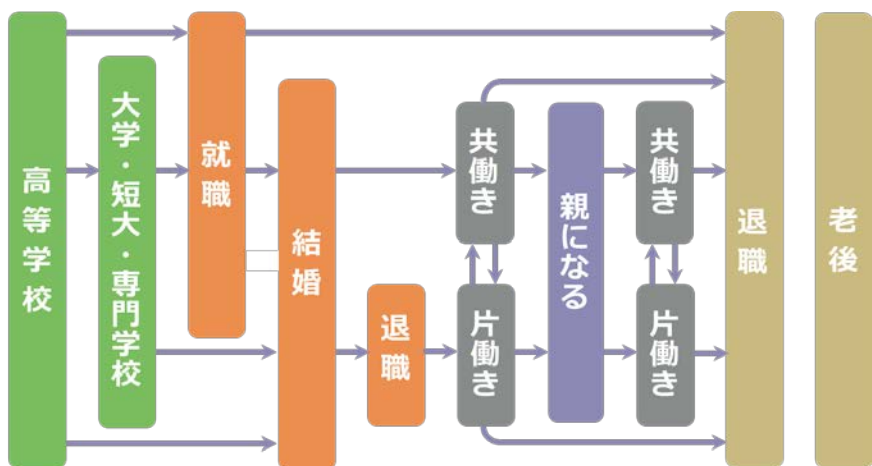
年 組 番 氏名

I. 生活設計とお金

[1] 将来を考える

生活設計とは、自分の将来について こと。

[2] さまざまなライフコース



[3] ライフイベントとそれにかかる費用

問題① 結婚にかかる費用

*リクルートマーケティングパートナーズ「ゼクシィ結婚トレンド調査2019」調べ

自分の解答	正解
<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円

問題② 一軒家を購入するのに必要な費用

*住宅金融支援機構「フラット35利用者調査」(2018年度)

<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
-------------------------	-------------------------

問題③ 子ども一人にかかる教育費

*文部科学省「子供の学習費調査」(平成30年度)「私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」(平成30年度)

<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
-------------------------	-------------------------

[4] まとめ

と は、セットで考える必要がある。

II. リスクへの備え

[1] リスクとは何か

普段の生活の中でどんなリスクがあるか考えてみよう。

[2] 生活設計に影響のある重大なリスク

<参考データ>

A 交通事故の年間発生件数 430,601件

*警察庁「交通事故発生状況」(平成30年)

→ 約 秒に1件

B 1日平均新入院患者数 44,826人

*厚生労働省「医療施設調査・病院報告」(平成30年)

→ 約 秒に1人

C 65歳までに亡くなる人の割合

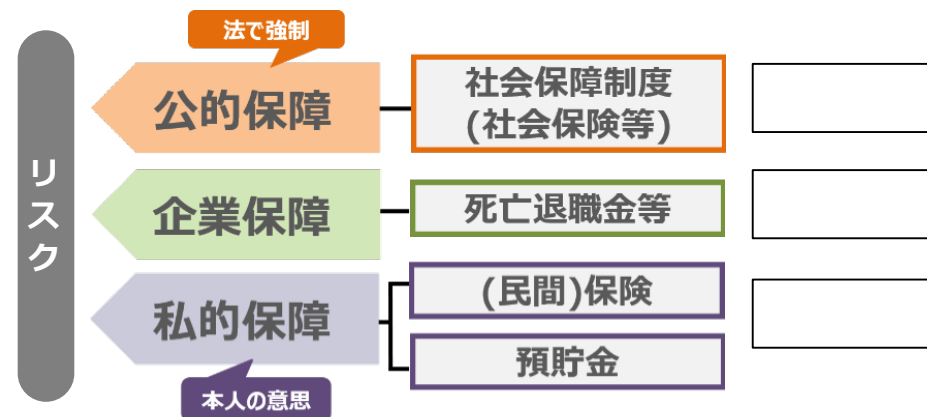
*厚生労働省「簡易生命表」(平成30年)

→ 男性: 約 人に1人

女性: 約 人に1人

[3] リスクに備える3つの保障

※保障: もしものときに生活を守るもの



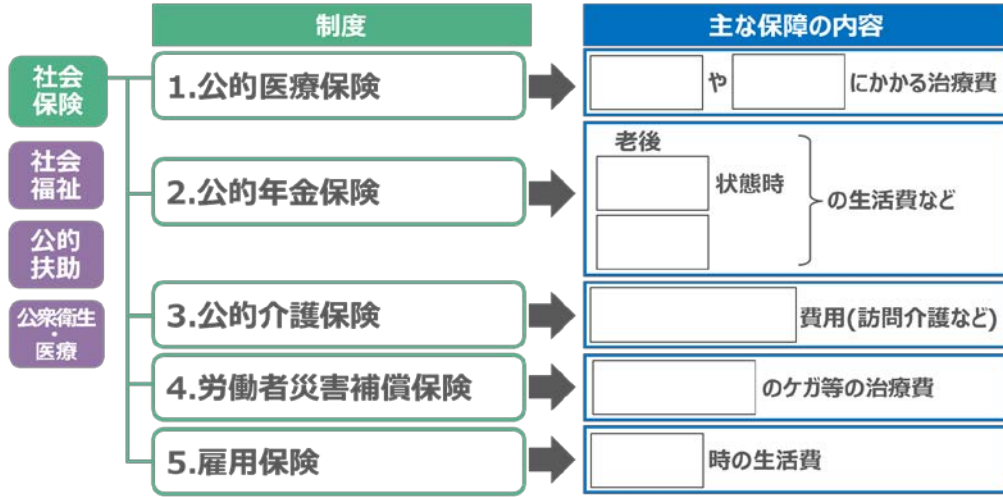
[4] まとめ

リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。

と **企業保障** で不足する部分を で補う。

Ⅲ. 公的保障と私的保障

[1] 社会保障制度の概要



(発展課題) 困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう

状況

制度

定年退職して老後の収入が無くなった

会社が倒産し、失業した

介護が必要な状態になった

一家の働き手が交通事故で亡くなった

病気で入院した

社員が仕事でケガをした

公的医療保険

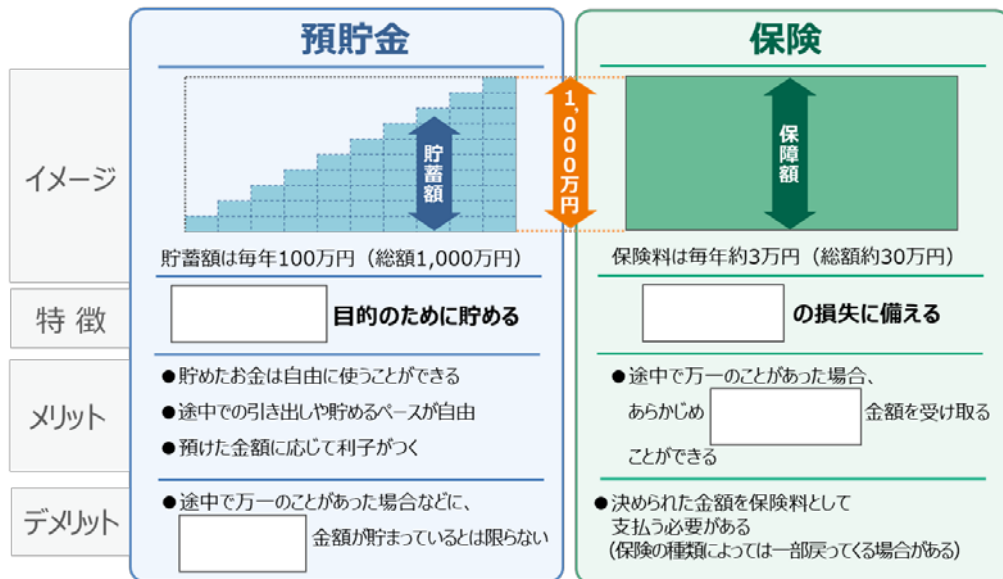
公的年金保険

公的介護保険

労働者災害補償保険

雇用保険

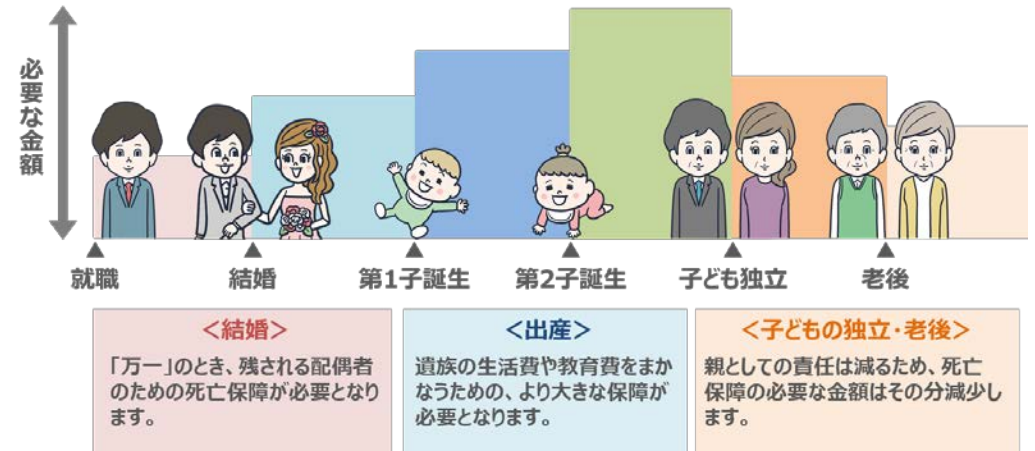
[2] 預貯金と保険



[3] 生命保険と損害保険

	生命保険	損害保険
対象	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受取額	あらかじめ約束した金額(定額保障)	事故により発生した損害額(実損填補) <small>てんぽ</small>
備えられるリスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 万一(死亡) ● 病気・ケガ ● 老後 ● 介護 など	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通事故 ● 火事 ● 台風や地震 など

[4] ライフステージによる必要な保障の違い



[5] まとめ

家族構成や年齢によって必要な保障は異なる。

に応じて、リスクへの備えを考えよう。

memo
